

理解を深めよう  
もう一問!

## Q4-1 | 多文化共生を邪魔するものは何？

外国にルーツのある人が生活するには、解決しなくてはならない3つの壁があると言われています。

### 言葉の壁（コミュニケーションに関するもの）

外国籍の人は在留資格の範囲内で日本で働くことができますが、日本語教育は制度化されておらず地域の有志に頼っているため、日本語を習得する機会は限られています。日本社会は多言語社会でないことから、外国籍の人が地域社会に参画することは難しいとい



う問題もあります。日本語を学ぶ機会が少ないことや多言語対応のシステムが整っていないことは、必要な情報を受け取れなかったり人間関係の構築に支障をきたしたりします。特に災害時には命に関わることになります。

### 制度の壁（生活に関するもの）

日本では外国籍住民の受け入れの制度が不十分なため、暮らしていくうえで大変な面があります。例えば、参政権がないこと、在留資格によっては就けない職業があることや安定した雇用に就きにくいこと、日本国籍でないため職業によっては管理職になれないこと、外国籍の子どもは義務教育の対象になっていないので不就学になりやすいリスクがあるなど、雇用や教育等の権利の保障面での問

題があります。

### 心の壁（地域社会との関係）

文化や見た目の違いによる偏見と差別があったり地域社会と接点を持つことが難しかったりして地域になじめないことが起こっています。

### 壁を解消するには

3つの壁の中で心の壁を解消することは、個人として明日からでもできることであり、地域社会の中で取り組まなければならないことです。言葉や文化がわからないからとルーツが異なる人を遠巻きに見ていることが心の壁を作る要因の一つになっています。心の壁は人と会うことで低くしていくことができます。各市町で開催される多文化共生のためのイベントや講座といった誰にでも開かれた機会への参加を積み重ねることが、心の壁を解消していく手助けになります。

